

2024年度 ルールブック修正新旧対照表

旧			新			
P	条項等	内 容	P	章	条項	内 容
【一般(共通)】						
6		まえがき ソフトバレーボールは、1987年正式に競技規則を制定し、歩み始めてから 36年 を迎えました。当時、(略)	6			まえがき ソフトバレーボールは、1987年正式に競技規則を制定し、歩み始めてから 37年 を迎えました。当時、(略)
10・12		ソフトバレーボールの歩み (略) 1989年 2月 ルールブックの初版本をビーチバレーボールのルールと併載の形で発行。このとき「サービス時の アウトポジション の反則」の採用などルールの一部が改正された。 (略)	10・12			ソフトバレーボールの歩み (略) 1989年 2月 ルールブックの初版本をビーチバレーボールのルールと併載の形で発行。このとき「サービス時の アウトオブポジション の反則」の採用などルールの一部が改正された。 (略) 2023年2月 サービスゾーン、ショートサービスゾーンの定義を明確化する修正を行った。
14	目次	(略) 第5章 プレー上の動作と反則 (略) 22 プレー上の反則 22.1 フットフォルト 22.2 サービス順の誤り 22.3 アウトオブポジション 22.4 サービスの反則 22.5 アタックヒットの反則 22.6 ブロックの反則 22.7 オーバータイムス 22.8 ホールディング 22.9 ドリブル 22.10 タッチネット 22.11 オーバーネット 22.12 パッシングザセンターライン 22.13 ボールアウト 22.14 ダブルファウル 22.15 インターフェア (略)	14	目次	(略) 第5章 プレー上の動作と反則 (略) 22 プレー上の反則 22.1 ペネトレーションフォルト 22.2 サービス順の誤り 22.3 アウトオブポジション 22.4 サービスの反則 22.5 アタックヒットの反則 22.6 ブロックの反則 22.7 オーバータイムス 22.8 ホールディング 22.9 ドリブル 22.10 タッチネット 22.11 オーバーネット 22.12 ボールアウト 22.13 ダブルファウル 22.14 インターフェア (略)	
16		競技の特性 (略) (3) (略) 男女別、年齢、体力、経験、技術等 のレベルに応じて (略)	16			競技の特性 (略) (3) (略) 男女や年齢別、体力や経験、技術等 のレベルに応じて (略)
17	第1章	1.1.2 競技場の表面から最低限7mの 高さ と、 フリーゾーンの中には ネット、支柱、審判台を除き、一切の障害物があるてはならない。	17	第1章	1.1.2 競技場の表面から最低限7mの 高さ と フリーゾーンには ネット、支柱、審判台を除き、一切の障害物があるてはならない。	
21	第2章	6.2.1 監督は、試合中、チームチームベンチの記録席に最も近い位置に座っていなければならない。競技中断の間は立ち上がって指示をしても良い。	21	第2章	6.2.1 監督は各セットの開始前に、サインしたラインアップシートを副審または記録員に提出する。	
21		6.2.2 監督は、選手交代およびタイムアウトを要求することができる。しかし、選手としてコート内にいるときは、その権利を失う。	21		6.2.2 監督は試合前、公式記録用紙に記載された選手に誤りがないか確認しサインする。	
21		6.2.3 監督は、いかなる場合でも審判員の判定に対して、異議を申し出ることは許されない。	21		6.2.3 監督は試合中、チームベンチの記録席に最も近い位置に座っていなければならない。競技中断の間は立ち上がって指示をしても良い。	
			21		6.2.4 監督は、選手交代およびタイムアウトを要求することができる。しかし、選手としてコート内にいるときは、その権利を失う。	

2024年度 ルールブック修正新旧対照表

旧			新				
P	条項等	内 容	P	章	条項	内 容	
			21		6.2.5	監督は、いかなる場合でも審判員の判定に対して、異議を申し出ることは許されない。	
21	6.3.1	チームキャプテンは試合前、チームを代表してトスおよびサインを行う。	21		6.3.1	チームキャプテンは次のことを行う。	
			21		6.3.1.1	監督が不在の場合、サインしたラインアップシートを副審または記録員に提出する。	
			21		6.3.1.2	チームを代表してトスを行い、監督が不在の場合は試合前、公式記録用紙に記載された選手に誤りがないか確認しサインする。	
			21		6.3.1.3	試合終了後、公式記録用紙にサインし結果を承認する。	
21	6.3.2.1	選手交代およびタイムアウトの要求をすることができる。	21		6.3.2.1	選手交代およびタイムアウトを要求することができる。	
21	6.3.4	チームキャプテンは試合終了後、公式記録用紙にサインし結果を承認する。				※削除、6.3.1.3に組み入れ。	
21	6.4.2	選手のユニフォームには、胸部と背部の中央に、胸部には最小限10cm、背部には最小限15cmで、字幅は2cm以上のユニフォームと異なった色の1から8の番号を付けなければならない。ただし、都道府県大会等では、1から99の番号を用いてもよい。 なお、全国大会では、年齢、性別によって番号を指定することがある。	22		6.4.2	選手のユニフォームには胸部と背部の中央に、胸部には高さが最小限10cm、背部には高さが最小限15cmで字幅は2cm以上のユニフォームと異なった色の1から99の番号を付けなければならない。 なお、全国大会では、年齢、性別によって番号を指定することがある。	
22	第3章	8.2	両チームのキャプテンが、(略)	23	第3章	8.2	両チームのチームキャプテンが、(略)
23		9	ラインアップシート 各セットの開始前に、監督またはチームキャプテンは、ラインアップシートにチームのスターティングラインアップを記入して、副審もしくは記録員に提出しなければならない。	23		9	ラインアップシート 各セットの開始前に、(略) 副審または記録員に提出しなければならない。
23		10.1.2	サーバーによりボールが打たれた瞬間に両チームは、サーバーを除いてバックの選手は対応するフロントの選手より後方に位置するとともに、バックの選手同士やフロントの選手同士は、それぞれ自分のポジションのサイドライン近くに位置していなければならない。ただし、バックの選手が対角となるフロントの選手より前方に位置しても反則とはならない。	23		10.1.2	サーバーによりボールが打たれた瞬間に両チームの選手は、サーバーを除きコートの内側で、それぞれのポジションに位置していなければならない。
23		10.1.2.2	フロントの選手とバックの選手の位置関係 各フロントの選手の片足の少なくとも一部は、それぞれに対応するバックの選手の両足よりも、センターラインの近くに位置していること。	23		10.1.2.2	フロントの選手とバックの選手の位置関係 各フロントの選手の(略) ただし、バックの選手が対角となるフロントの選手より前方に位置しても反則とはならない。

2024年度 ルールブック修正新旧対照表

旧			新			
P	条項等	内 容	P	章	条項	内 容
23	10.1.3	サーバーを除く両チームの選手は、サーバーによりボールが打たれた瞬間に、それぞれのコート内でローテーション順に位置していなければならない。サービスが打たれた後は、どのように移動してもよく、プレー上の制限はない。 (第2図 ローテーション)	24		10.1.3	サービスが打たれた後は、どのように移動してもよく、プレー上の制限はない。 (第2図 ローテーション)
27	11.3.3	選手交代を要求したチームは、競技を再開せずに連続して、選手交代を要求することはできない。	27		11.3.3	選手交代を要求したチームは、競技を再開せずに連続して選手交代を要求することはできない。
27	12.2	第2セットの終了後1対1となった場合は、もう一度トスを行い、その結果によりコートを決める。	27		12.2	第2セットの終了後セットカウントが1対1となった場合は、もう一度トスを行い、その結果によりコートを決める。
30	第4章 17.4.7	サーバーのフットフォルトやサービス側のアウトオブポジションとレシーブ側のアウトオブポジションが同時に起こったときは、サービス側の反則とする。	30	第4章	17.4.7	サーバーのペネトレーションフォルトやサービス側のアウトオブポジションとレシーブ側のアウトオブポジションが同時に起ったときは、サービス側の反則とする。
31	19.2	アタックヒットは、ボールがネット上方の垂直面を完全に通過した瞬間、あるいは相手選手に接触したとき完了する。	31		19.2	アタックヒットは、ボールがネット上方の垂直面を完全に通過した瞬間、あるいは相手選手に接触したときに完了する。
31	19.4	相手チームがサービスしたボールを、ネット上端より完全に高い位置からアタックヒットを完了したときは反則となる。	31		19.4	サービスされたボール全体がネット上端より高い位置にあるときに、選手がアタックヒットを完了したときは反則となる。
32	19.5	「ファミリーの部」では、バックに位置した大人の選手がネット上端より完全に高い位置から、アタックヒットを完了したときは反則となる。	32		19.5	「ファミリーの部」では、サービスされたボール全体がネット上端より高い位置にあるとき、バックに位置した大人の選手がアタックヒットを完了したときは反則となる。
34	22.1	フットフォルト サービスボールを打った瞬間、あるいはジャンプサービスをするため踏み切ったときに、コート(エンドラインを含む)や、サービスゾーン(あるいはショートサービスゾーン)外のフリーゾーンに接触していたとき。	34		22.1	ペネトレーションフォルト
			34		22.1.1	サービスボールを打った瞬間あるいはジャンプサービスをするため踏み切ったときに、コートの床(エンドラインを含む)や、サービスゾーン(あるいはショートサービスゾーン)外側のフリーゾーンの床に接触していたとき。
			34		22.1.2	サーバーによりボールが打たれた瞬間に、サーバーを除く両チームの選手が、それぞれのコート外の床に接触していたとき。
			34		22.1.3	センターラインを完全に越えて、相手コートに接触したとき。ただし、片方の足(両足)または片方の手(両手)の一部がセンターラインに接触しているか、その真上に残っていれば許される。しかし、肘、膝、頭などの身体部分が相手コートに接触した場合は反則となる。(第8図)
			34		22.1.4	選手が、フリーゾーンを完全に越えたとき。
			34		22.1.5	隣接するコートに身体の一部でも侵入したとき。

2024年度 ルールブック修正新旧対照表

旧			新			
P	条項等	内 容	P	章	条項	内 容
34	22.4	サービスの反則 サービスしたボールが、	34		22.4	サービスの反則
34	22.4.2	ネットやサーバー側の選手に接触したとき。	34		22.4.2	サービスしたボールが、 ネットやサーバー側の選手に接触したとき。
34	22.4.3	サーバー側のコート内の床に接触したとき。	34		22.4.3	サービスしたボールが、 サーバー側のコート内の床に接触したとき。
34	22.4.4	ボールアウトになったとき。	34		22.4.4	サービスしたボールが、 ボールアウトになったとき。
35	22.12	パッシングザセンターライン	35		22.12	ボールアウト
			35		22.12.1	ボールがコート外の物体やネット上方のアンテナのみに接触したとき。
			35		22.12.2	ボールの全体またはその一部でも、許容空間外側のネットの垂直面を完全に通過したとき。
			35		22.12.3	ボールが床に接触し、その部分が完全に区画線の外側であるとき。
			35		22.12.4	ボールがネット下方の空間を完全に通過したとき。
			35		22.12.5	ボールがフリーゾーンを越えたとき。
			35		22.12.6	他の選手や競技場内の物体で身体を支えたり、これを利用してボールをプレーしたとき。
35	22.13	ボールアウト	36		22.13	ダブルファウル
35	22.13.1	ボールがコート外の物体やネット上方のアンテナのみに接触したとき。	36		22.13.1	両チームの選手が同時に反則をしたとき。
35	22.13.2	ボールの全体またはその一部でも、許容空間外側のネットの垂直面を完全に通過したとき。	36		22.13.2	ネット上で、両チームの選手が同時に接触し、そのボールがアンテナに接触したときやアンテナ上方を通過したとき。
35	22.13.3	ボールが床に接触し、その部分が完全に区画線の外側であるとき。				
35	22.13.4	ボールがネット下方の空間を完全に通過したとき。				
35	22.13.5	ボールがフリーゾーンを越えたとき。				

2024年度 ルールブック修正新旧対照表

旧			新			
P	条項等	内 容	P	章	条項	内 容
35	22.13.6	他の選手や競技場内の物体で身体を支えたり、これを利用してボールをプレーしたとき。				
35	22.14	ダブルファウル	36		22.14	インターフェア
35	22.14.1	両チームの選手が同時に反則をしたとき。	36		22.14.1	相手チームの選手に接触し、その選手のプレーを妨害したとき。
35	22.14.2	ネット上で、両チームの選手が同時に接触し、そのボールがアンテナに接触したときやアンテナ上方を通過したとき。	36		22.14.2	相手コート内にあるボールに、ネットの反対側から故意に接触してプレーを妨害したとき。
			36		22.14.3	インプレー中に、選手がネット下を通り抜けたとき。
			36			〈第8図 センターラインのペネトレーションフォルト 〉
36	22.15	インターフェア				
36	22.15.1	相手チームの選手に接触し、その選手のプレーを妨害したとき。				
36	22.15.2	相手コート内にあるボールに、ネットの反対側から故意に接触してプレーを妨害したとき。				
36	22.15.3	インプレー中に、選手がネット下を通り抜けたとき。				
36		〈第8図 パッシングザセンターライン 〉				
42	第7章 29.1	2人の線審は、ネットに向かって左側のコートの両端から0.5～1m離れた位置に立ち、 旗 を使ってその任務を遂行する。	42	第7章	29.1	2人の線審は、ネットに向かって左側のコートの両端から0.5～1m離れた位置に立ち、 フラッグ を使ってその任務を遂行する。
42	29.2	線審は、担当するコーナーで エンドラインとサイドラインに関する判定(サーバーのフットフォルトやボールのアウト、イン等)をし、合図する。	42		29.2	線審は、担当するコーナーで ボールのイン、アウトやセンターラインを除くペネトレーションフォルトを判定し、公式フラッグシグナルで合図する。
42	29.3	線審は、ボールがアンテナに接触したり、その想像延長線上を通過したり、その外側を通過したとき、 合図する。	42		29.3	線審は、ボールがアンテナに接触したり、その想像延長線上を通過したり、その外側を通過したとき、 公式フラッグシグナルで合図する。
〈第10図 主審と副審の公式ハンドシグナル〉						
44	第7章	● ボールアウト ④ 21.2、 22.13 、26.2.2.2(b) 27.2.2.4、27.2.2.5	44	第7章		● ボールアウト ④ 21.2、 22.12 、26.2.2.2(b) 27.2.2.4、27.2.2.5

2024年度 ルールブック修正新旧対照表

旧			新			
P	条項等	内 容	P	章	条項	内 容
45		● ダブルファウト ⑤ (ノーカウント) 11.5、15.2、18.7、 <u>22.14</u> 、26.2.2.2(d)、27.2.2.6	45			● ダブルファウト ⑤ (ノーカウント) 11.5、15.2、18.7、 <u>22.13</u> 、26.2.2.2(d)、27.2.2.6
47		● フットフォルト ⑮ 片方の手で足元を指す。 <u>17.4.5、17.4.6、22.1、26.2.2.2(b)</u>	47			● ペネトレーションフォルト ⑮ 片方の手でセンターラインまたは足元を指す。 <u>17.4.5、17.4.6、22.1、26.2.2.2(b)、27.2.2.3</u>
47		● パッシングザセンターライン ⑯ <u>22.12、26.2.2.2(b)、27.2.2.3</u>				
48		● アタックヒットの反則 ⑰ 19.4、19.5、22.5、26.2.2.2(b)	48			● アタックヒットの反則 ⑯ 19.4、19.5、22.5、26.2.2.2(b)
48		● ブロックの反則 ⑱ 20.6、20.7、22.6、26.2.2.2(b)、(c)	48			● ブロックの反則 ⑰ 20.6、20.7、22.6、26.2.2.2(b)、(c)
48		● アウトオブポジション ● サービス順の誤り ⑲ <u>10.1.2</u> 、10.2、17.3、22.2、22.3、26.3.2.2(a)、27.2.2.1	48			● アウトオブポジション ● サービス順の誤り ⑱ <u>10.1</u> 、10.2、17.3、22.2、22.3、26.3.2.2(a)、27.2.2.1
48		● コートチェンジ ⑳ 12	48			● コートチェンジ ⑲ 12
49		● 選手交代 ㉑ 11.2、27.1.3	49			● 選手交代 ⑳ 11.2、27.1.3
49		● タイムアウト ㉒ 11.1、27.1.3	49			● タイムアウト ㉑ 11.1、27.1.3
49		● セット及び試合の終了 ㉓ 13、14、16	49			● セット及び試合の終了 ㉒ 13、14、16
49		● 警告 ㉔ 24.1、26.2.2.1	49			● 警告 ㉓ 24.1、26.2.2.1
50		● 反則 ㉕ 24.2、26.2.2.1	50			● 反則 ㉔ 24.2、26.2.2.1
50		● 退場 ㉖ 24.3、26.2.2.1	50			● 退場 ㉕ 24.3、26.2.2.1
50		● 失格 ㉗ 24.4、26.2.2.1	50			● 失格 ㉖ 24.4、26.2.2.1

2024年度 ルールブック修正新旧対照表

旧				新			
P	条項等	内 容		P	章	条項	内 容
<第11図 線審のフラッグシグナル>							
51	第7章	● ボールイン ① 旗を下げる。 21.1、29.2		51	第7章	● ボールイン ① フラッグを下げる。 21.1、29.2	
51		● ボールアウト ② 旗を上げる。 21.2.1、 22.13.3、29.2		51		● ボールアウト ② フラッグを上げる。 21.2.1、22.12.3、 22.12.5、22.12.6、29.2	
51		● ワンタッチ ③ 旗を立て、他方の手のひらを旗の先端にのせる。 29.2		51		● ワンタッチ ③ フラッグを立て、他方の手のひらをフラッグの先端にのせる。 29.2	
51		● ボールがアンテナに接触するか、その上方外側を通過したとき、およびフットフォルト ④ 17.4.5、17.4.6、21.2.2、21.2.3、 22.1、22.13.1、22.13.2、29.2、29.3 アンテナ、エンドライン またはフリーゾーンを片方の手で指し、頭上の 旗 を左右に振る。		52		● ボールのアンテナへの接触 ● アンテナ上方外側の通過 ● センターラインを除くペネトレーションフォルト ④ 17.4.5、17.4.6、21.2.2、21.2.3、 22.1.1、22.1.2、22.1.4、22.1.5、22.12.1、22.12.2、29.2、29.3 アンテナ、 ライン またはフリーゾーンを片方の手で指し、頭上の フラッグ を左右に振る。	
小学生ルール							
55		まえがき ソフトバレーボールは、1987年正式に競技規則を制定し、歩み始めてから 36年 を迎えました。小学生を(略)		55		まえがき ソフトバレーボールは、1987年正式に競技規則を制定し、歩み始めてから 37年 を迎えました。小学生を(略)	
57	2.1	各セットの開始前に、監督またはチームキャプテンは、サービス順とスターティングラインアップを記入したラインアップシートを、 副審もしくは記録員 に提出しなければならない。		57	2.1	各セットの開始前に、監督またはチームキャプテンは、サービス順とスターティングラインアップを記入したラインアップシートを、 副審または記録員 に提出しなければならない。	
58	3.2	小学校4年生以下の選手は、ショートサービスラインからサービスをすることができる。ボールを打った瞬間あるいはジャンプサービスをするために踏み切ったとき、ショートサービスラインや ゾーン外側に接触してはならない。		58	3.2	小学校4年生以下の選手は、ショートサービスラインからサービスをすることができる。ボールを打った瞬間、あるいはジャンプサービスをするために踏み切ったとき、ショートサービスラインや ショートサービスゾーン外のフリーゾーンに接触してはならない。	

2024年度 ルールブック修正新旧対照表

旧				新			
P	条項等	内 容	P	章	条項	内 容	
付録1 公式記録記入法							
59		<p>■試合前（トス後、最初のサービス開始前）</p> <p>① トスの結果、記録席から見て左側のコートを選んだチームをAとし、右側のチームをBとして、対戦チーム名の欄の○の中に記入する。同様に、チーム名欄と試合結果欄のチーム名の○の中にA、Bを記入する。</p> <p>② 監督またはキャプテンの欄に監督またはチームキャプテンのサインを採録する。各チームのポジションシートの中央の○の中にA、Bを記入する。第1セットの試合経過欄の上部、A、Bのサービスチームに○をつける。</p> <p>③ 各セットの開始前のラインアップシートに基づいてスターティングメンバーの番号を記入する。上部の波線はネットを示すので、記録席から見てチームが左右同じサイドになるように記入する。(第1図)</p>	59			<p>■試合前（トス後、最初のサービス開始前）</p> <p>① トスの結果、記録席から見て左側のコートを選んだチームをAとし、右側のチームをBとして、対戦チーム名の欄の○枠に記入する。同様に、チーム名欄と試合結果欄のチーム名の○枠にA、Bを記入する。</p> <p>② 監督またはキャプテンの欄に監督またはチームキャプテンのサインを採録する。各チームのポジションシートの中央の○枠にA、Bを記入する。第1セットの試合経過欄の上部、A、Bのサービスチームに○をつける。</p> <p>③ ラインアップシートに基づいてスターティングメンバーの番号を記入する。上部の波線はネットを示すので、記録席から見てチームが左右同じサイドになるように記入する。(第1図)</p>	
60		<p>■2・3 セット開始前</p> <p>① 各チームのポジションシートの中央の○の中にA、Bを入れる。ラインアップシートに基づいてスターティングメンバーの番号を記入する。</p> <p>② 2セット目の試合経過欄の上のサービスチームを○で囲む。</p> <p>③ セットオールの場合、トスの結果によってチームのA、Bの符号を入れる。</p>	60			<p>■2・3 セット開始前</p> <p>① 各チームのポジションシートの中央の○枠にA、Bを入れる。ラインアップシートに基づいてスターティングメンバーの番号を記入する。</p> <p>② 第2セットの試合経過欄の上のサービスチームを○で囲む。</p> <p>③ 第3セットの場合、トスの結果によってチームのA、Bを記入する。</p>	
60		<p>■試合中</p> <p>(1) サーバーと得点 (略)</p> <p>③ そのサーバーの時のラリーに勝ったチームに得点を与え、スコア欄に「何点:何点」と入れる。</p> <p>④ 相手チームが得点してサービス権が移行したら、そのチームに得点を与え、スコア欄に「何点:何点」と記入する。この時、交代選手の番号は消さない。サーバーの番号は、その下のサーバー欄に記入する。したがって、サーバー欄へは、サービス権の移行の都度、そのチームが得点を得た都度、次の行のサーバー枠に、これから打つサーバーの番号を記入することになる。</p> <p>(略)</p> <p>⑦ 選手交代の要求があった時は、側面の枠の口内に交代選手の番号を記入する。この時、交代戦の番号は消さない。同じペアの交代が再び行われた時は、口内の番号を斜線で消す。それと同時にそのチームのT-SUB 欄のその時の得点枠に3→4の要領で記入する。</p>	60			<p>■試合中</p> <p>(1) サーバーと得点 (略)</p> <p>③ そのサーバーの時のラリーに勝ったチームに得点を与え、スコア欄に両チームの得点を記入する。</p> <p>④ 相手チームが得点してサービス権が移行したら、そのチームに得点を与え、スコア欄に両チームの得点を記入する。サーバーの番号は、その下のサーバー欄に記入する。したがって、サーバー欄へは、サービス権の移行の都度、そのチームが得点を得た都度、次の行のサーバー枠に、これから打つサーバーの番号を記入することになる。</p> <p>(略)</p> <p>⑦ 選手交代の要求があった時は、側面の口枠に新たにコートに入る交代選手の番号を記入する。同じペアの選手交代が再び行われた時は、口枠の番号を斜線で消す。それと同時にそのチームのT-SUB 欄のその時の得点枠に3→4の要領で記入する。</p>	
付録2 プロトコール							
63		<p>プロトコール (試合前、セット間および終了後の手順)</p> <p>主審・副審 両審判員は、ネットの高さ、張り具合、アンテナの位置をチェックをする。</p>	63			<p>プロトコール (試合前、セット間および終了後の手順)</p> <p>主審・副審 両審判員は、ネットの高さ、張り具合、アンテナの位置をチェックする。</p>	

2024年度 ルールブック修正新旧対照表

旧			新			
P	条項等	内 容	P	章	条項	内 容
64		プロトコール 10分前 (試合前、セット間および終了後の手順) チーム 両チームが一緒か、または個別に(サービス権を得たチームから)公式ウォームアップを開始する。 両チームは 1セット目 のラインアップシートを 副審 に提出する。	63			プロトコール 10分前 (試合前、セット間および終了後の手順) チーム 両チームが一緒か、または個別に(サービス権を得たチームから)公式ウォームアップを開始する。 両チームは 第1セット のラインアップシートを 副審または記録員 に提出する。
64		第3セットのコート 主審・副審 主審は、8点目の吹笛後、両チームにコートを交替するよう吹笛と シグナル で合図する。	64			第3セットのコート 主審・副審 主審は、8点目の吹笛後、両チームにコートを交替するよう吹笛と ハンドシグナル で合図する。